

大学における「音読・朗読教材研究」の具現化と実践指導

～樺坂46‘世界には愛しかない’を群読教材として取り上げる試み～

高 橋 永 行

中学校学習指導要領国語では、「音読・朗読」は「読むこと」の言語活動例として位置づけられていた（平成20年3月告示）が、平成29年3月告示の新学習指導要領では古典学習の指導事項として明確化された（下線、筆者）。もちろん現代語で表現された文章を「読む」ことの言語活動としての取り組みは小学校からの継続として授業デザインに取り入れるべきものであることに変わりはない。国語科教育において、学習プロセス（思考・判断・表現・交流活動）の中で、音読・朗読の効果が近年再評価されるようになっている。声の大小、速さ、抑揚、間合いを意識した音読からはじまり、書かれた内容についての理解を深め、自ら感じたことや考えたことを表現する朗読は大切な学習目当てのひとつである^(注1)。

朗読は、話し手が理解した内容について表現を工夫して声に出すという技術でもある。表現読みとも言われる。話し手が感じ、表現したことを、聞き手に正しく受け取らせる。一方、聞き手側からみると、表現技法から話し手の意図を解き明かすことも求められる。つまり、コミュニケーション活動の一端でもある。

学習指導要領の「〔思考力、判断力、表現力等〕○表現、共有（話すこと）」では、1～3学年を通して「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する」ことが求められる。解説（平成29年6月）では、「話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方」に注意し、「知識及び技能」の「音声の働きや仕組みについて、理解を深めること」との関連を図ることを挙げる。指導要領や解説では、重要な部分を取り立てて強調して発声する^(注2)言語活動の工夫を求めている^(注3)。

1. 音読・朗読研究の導入教材

本稿は、教職課程を履修する学生がどのように音読・朗読の教材研究を進めるか、その実践例を取り上げるものである。声に出してみることで、さまざまな音声表現の特徴が見えてくる。同じ文章でも読み方の違いにより印象

は変わる。

音読と朗読の違いを考えるために、『日本語MULTEXT韻律コーパス』^(注4)から音声データを用いてみよう。このデータは、同一話者が音読段階（事務的な口調）と朗読段階（感情的な口調）でテキストを発話したものである。聞き比べることでその違いを確認できる。

本稿では【o8】をテキストとして用い、その中で発話者fhk（女性）の音声データ【o8r】および【o8p】を利用する^(注5)。

o8:文字テキスト

サービス係をお願いします。

テレビが故障してからもう3週間くらい経つのですが、
いつごろ直って来るのか教えてもらいたいです。

13日に修理に出した時には、

1週間で修理が終わって戻ってくるって聞いていたのですけど。

他のお客さんからも修理の依頼がたくさんあることは分かりますが、
それにしても時間がかかり過ぎじゃないですか！

確実に修理から返ってくる日を教えてもらえないでしょうか！

音読【o8r】は、読み上げるような話し方で、事務的（referential）な印象を聞き手に与える。朗読【o8p】は、セリフのような話し方で、感情的（affective）な印象を聞き手に与える。事務的な口調は、情報の伝達を重視した発話である。メールやLineで文字しか打たないと、どことなく落ち着かない、冷たい感じのことばづかいになるのと同じである。一方、感情的な口調は、気持ちの伝達を重視した発話である。【o8】テキストは、発話内容からわかるように、聞き手に対して話し手がクレームを言うものであり、朗読【o8p】では「憤り」の感情が表に出ているとを感じるだろう。音読【o8r】は逆に感情を抑えた、淡々とした話しぶりという印象を持つだろう。

アクセントの現れ方を記号付けをしながら比較することで音読と朗読の違いについて考えてみる。アクセント（下がり目（㇏））の位置を付けたテキストを、音読【o8r】と朗読【o8p】に分けて示す。

音読【o8r】

サービスが㇏かりをおねがいしま㇏す

テ㇏テレビがこしよーして㇏からも㇏ーさんしゅーかんく㇏らいた㇏つので㇏すけれど㇏①
いつごろな㇏㇏って㇏るのかおしえてもらいた㇏いのです

じゅーさーんにちにしゅーりにだしたとときにわ

いっしゅーかんでしゅーりがおわってもどってくるってきいていたので□すけど②

たのおきゃくさんからもしゅーりのいらいがたくさんあることわかりますが、それにしてもじかんがかりすぎじゃないで□すか③

かくじつにしゅーりからかえってく□るひを④おしえてもらえなないでしょーか⑤

朗読【o8p】

サービスがかりをおねがいします

テレビがこしょーしてからもーさんしゅーかんくーらいたつので□すけれど①

いつごろなおってくるのかおしえてもらいたいのです

じゅーさーんにちにしゅーりにだしたとときにわ

いっしゅーかんでしゅーりがおわってもどってくるってきいていたので□すけど②

たのおきゃくさんからもしゅーりのいらいがたくさんあることわかりますが、それにしてもじかんがかりすぎじゃないで□すか③

かくじつにしゅーりからかえってく□るひを④おしえてもらえなないでしょーか⑤

アクセントは単語ごとに恣意的に決まっているため、一般的に話者の気持ちや状況により下がり目の位置が変化することはない。しかし、文の中で複数の語を連続して発話し、意味的に一つのまとまりとすることで、発音したときの高低パターンが異なって表れる（準アクセント）場合がある。音読【o8r】と朗読【o8p】を比べると、この準アクセントの現れ方が異なることがうかがえる。一連の発話の中で比較的变化が少ないアクセントにも現れ方の違いが見られるということでもある。

テキスト内に記した①～⑤は、準アクセントの現れ方が異なる箇所である。

①、⑤は朗読において下がり目がない（下がり目が現れないところを□で表す）。②、③、④は逆に音読において下がり目がない。

アクセントは、客観的な聞き分けで記号付けができるので、「聞く」基礎訓練の場としてこのような教材を活用することも必要であると考え。音読と朗読の違いを体験的に聞き比べられるという点で、『日本語MULTEXT韻律コーパス』は有意義な教材として活用すべきである。

しかし、表現者の意図はアクセントの現れ方だけで読み取れるものではない。次節では、朗読において意図的に多様な技法を加えることで工夫できる分野を中心に教材研究を試みる。

2. 朗読の表現と向き合うために

音読は音声活動の基礎訓練の場であり、目的に応じた音読の学習は朗読という表現活動に発展させるためにある。教材作成に当たり、次の3つのポイントを課題として設定する。

- (1)正確に読む
- (2)速さ・リズム・音量を考えて読む
- (3)プロミネンスの効果を工夫して読む

そして、課題に応じてスモールステップ化を図るように教材研究を進めるべきである。

音読・朗読の記号付けは、一つ一つの文について工夫を凝らすことができ、音声の強弱や緩急を学習者に考えさせる上で効果的である。朗読を聞く立場では、話し手がどう解釈し、表現したかを考え、また朗読する立場では、自身が解釈したことをどう表現したら聞き手に伝えられるかを考える必要がある。ここでの記号付けは、表現方法のうちイントネーション・区切り・リズムに注目して行う。

多人数で行われる群読では教師の演出指導が重要な鍵となる。たとえば、隊列の形の組み方をどうするか、読み手自身の動作・表情・姿勢について一人一人に考えさせながら読ませることが求められる。よって、群読を朗読と演劇の中間に位置する文化活動ととらえる見方もある^(注6)。

本稿では、樺坂46^(注7)の楽曲「世界には愛しかない」をグループで行う表現活動にあたる群読劇（Readers Theater）として取り上げる。この楽曲は、朗読パートと歌唱パートにより構成デザインされた作品である。複数のメンバーによる役割分担がなされているので、群読教材として扱うことができる。1番の歌詞の朗読パートは平手友梨奈、長濱ねる、今泉佑唯の3名が担当する。歌唱パートはこの3名のほか18名を加えた21名で分担している。

鶴田清司(2011)は、大学での「国語教材研究」における音読・朗読の授業内容を紹介する。山村暮鳥「雲」という詩の作品を取り上げ、(I)－(Ⅲ)のスモールステップを図りながら指導した内容を述べている。

- (I)一人ずつ音読させる。
- (Ⅱ)本文に音読記号を書き入れさせる。
- (Ⅲ)再度練習させ、音読発表をする。

最初は棒読みだったが、声の大小・速さ・抑揚・間合いを意識した音読に変わり、文末イントネーションを上昇調にするか、下降調にするかなど、学生の読み方が多様化するようになるという。「身体とことばの関係」につい

でも言及する。音読・朗読による表現は「自身の身体の原初的な様態と切り離してはあり得ない」という竹内敏晴の発言を紹介し^(注8)、詩の「おい雲よ」を声に出すとき、学生たちに「語り手はどこで雲を見ているのだろうか？」と問いかけ、考えさせる。「空を行く雲が見える見晴らしのよい場所」を具体的にイメージさせ、「体の姿勢は上方を向いている」こと、そして、「おのずと声帯が開いて、語尾を下げて読むのは苦しいこと」を実感させる。このように、音読・朗読の方法や意義を学生に「体験的に理解」させるべきであると述べる^(注9)。手元のプリント類を見ながら「ただ声に出して読む」のではなく、ことばの内包する意味を適切に表現するために姿勢や動作（パフォーマンス）にまで考えを及ぼせることが必要である。

そのため、「世界には愛しかない」では樺坂46のメンバーがどのように朗読しているのか、つまり話し手がどう解釈し、表現したかを考えるために、ステージでの姿勢や動作が確認できる映像資料を基に検討してみる。

朗読パートは、TVの地上波で放映されたときの映像を比較すると、2016年夏から2017年春にかけてスタイル（朗読法）が変わっていることが観察できる。テレビ放送での歌唱は、次の5番組で確認した。

放送日	放映局	番組名
2016.7.2	日本テレビ系列	THE MUSIC DAY
2016.7.17	TBS系列	音楽の日×CDTV 朝まで生フェス！2016
2016.8.12	テレビ朝日系列	ミュージックステーション
2016.9.4	NHK	シブヤノオト
2017.4.6	NHK	SONGS 「樺坂46 ～平手友梨奈15歳・その舞こそが心の叫び～」

2017年4月6日に放送された SONGS では、朗読を担当した平手友梨奈にインタビューをしている^(注10)。

聞き手：「世界には愛しかない」で意識しているところは？

平 手：意志を持った男の子を演じられるかというところですよ。

（「大人への反抗」をテーマにした歌詞に平手は共感する。

共感した歌詞をどう表現すべきなのか？）言い方もやっぱりそのときの気持ちだったり、主人公になりきったりとかいろいろ変わってます。手探りですけど、いろいろやって感じたことを表現しようかなって思ってます。（深く歌詞を理解し、主人公になって表現する。）

この番組で披露された曲の朗読部分を観察すると、姿勢と朗読の関係性が顕著にうかがえる。冒頭の「歩道橋を駆け上がると」を声に出すとき、演者（平手友梨奈）はどこを見ているのか、どのような姿勢であるのかを確かめることにより、どういう声が出ているのか、あるいはどのような声に「なる」のかを考える必要がある。「駆け上がると」「空がすぐそこにあった」という詞から、主人公の視線はそのまま上を向くことがわかる。そのため演者は、「夏の青い空」を発音するときに「青い」にプロミネンスを置き、高く強く発声することで「見上げた空の青さ」を意図的に表現しようとしていると聞き手は感じ取れるのである。

教科書やプリント等を見ながら「読む」と視線は手元（下方）に向くことになる。その姿勢ではのどが閉じられ、声道が開かないので、声が遠くに届かない。声調（トーン）が低くなってしまう。それでは「夏の青い空」は表現できない。

次の演者（長濱ねる）は、「太陽が一瞬」を声に出すときに右手を上をまっすぐ伸ばす。腕の動きに連動し、喉が正面からやや上方を向き、「太陽が」を文頭イントネーション（はやあがり、高出し）を用いて発声している。

3人目の演者（今泉佑唯）は、うなずくように頭を下げて喉の開きを抑える動作をし、淡々とゆっくりとしたリズムで発音する。

以上のような朗読法の工夫がSONGSではみられる。

では、次にSONGSで披露されたこの楽曲の中から、朗読部分だけを取り出して記号付けしてみる。

音読・朗読記号は音声学の約束記号とは異なり、固定したものはないので、ここでは記号の一例を示しながら記号の書き入れを示す。アクセント、イントネーションは意識付けをするために書き入れるので、必要箇所だけを表示する。

2017年4月 NHK SONGS の朗読解析

音声表現の記号付け

リズム 一定の調子で やや速く やや遅く

括弧・囲み = 〈観念〉（名詞句）

切り替え（飛び越え ∨ かかることば）

強調 = プロミネンス・フォーカス（太字）

ポーズ /

音読記号の書き入れ

アクセント 下がり目（滝）┘

イントネーション 文頭 □――（語尾は省略）

A	歩道橋を駆け上がると、 <u>夏の青い空</u> がすぐそこにあった。 〈絶対届かない <u>ってわかって</u> いる〉はずなのに／ 僕はつま先で立って／ 思いっきりV手を <u>伸ばした</u> 。
B	真っ白な入道雲がもくもくと近づいて、 どこのかで蝉たちが <u>一斉に</u> 鳴いた。 <u>太陽が一瞬</u> ／ 〈怯んだ〉気がした。
C	<u>複雑に見えるこの世界は</u> ／ <u>単純な感情で動いている</u> 。

3. 群読テキストの構成

‘世界には愛しかない’の詩（1番の歌詞）を群読教材として取り上げて、
樺坂46と同じ21人構成でデザインした脚本例を示す。歌唱部分も詩として朗
読する。読み手の割り当ては、実際の歌唱パフォーマンスと同じ分担にする。
なお、この脚本例は2017年度の国語表現法（教職必修科目）において受講生
に実践させたものである。

読み手	ソロ A B C アンサンブル①（3人+A+C） ②（5人+B） ③（10人）
演出ノート	<p>(1)楽曲‘世界には愛しかない’の詩（1番）を群読する。</p> <p>(2)作品内容の理解を生徒同士で共有する。写実的な描写なので、目に見える情景、主人公の動作に注意が必要である。 ことばと動作について生徒に考えさせ、演じさせるとよい^(注1)。</p> <p>(3)ソロパートは3人(A, B, C)。アンサンブルは①～③の3グループであるが、AとCは①と、Bは②と一緒にになる。</p> <p>(4)文1の「歩道橋を駆け上がると、夏の青い空がすぐそこにあった。」では、顔を上向きにし、声の出し方に注意する。 リズム箇所を抑えめにする事で、「青い」にフォーカスさせる。世界観が始まりの文に表現されていることを聞き手に実感させる工夫をしたい。</p> <p>(5)文2では「絶対届かない」と「はずなのに」に心の葛藤を込める。「思いっきり」は「伸ばした」に飛び越えてかかっていくことを意識する。</p>

	<p>(6)文3, 4は主人公（高校生の男の子）の内省描写である。「意志のある心」を感じ取らせる。「溢れる」は「想い」に飛び越えてかかっていくことを意識する。</p> <p>(7)文5, 6は主人公の視点からの風景描写であると同時に心象風景をも表す。「入道雲」や「太陽」は「大人」（逆えないもの、自分より強いもの）の象徴である。「蝉」は自分の心にある意志や湧き上がる勇気を表す。「一斉に鳴いた」、「気がした」の読み方のリズム・テンポを工夫したい。「太陽が」の発声の入りを高く（文頭イントネーション）し、「怯んだ」以降をフェードアウトする読み方をする事で主人公の意志（勇気）を聞き手に感じさせるなどしたい。</p> <p>(8)文7は客観的描写であるので、できるだけ淡々と朗読したい。抑えめのリズムと、「世界は」のあとのポーズを聞き手に感じさせるようにする。</p> <p>(9)文8, 9は「大人は忘れてる」、だけど…というニュアンスを含ませるべきか考えさせたい。</p> <p>(10)文10以降は未来への強い意志を描くので、どのように読めばよいか、生徒に自由に工夫させる。たとえば声の強さ、アンサンブルによる交誦（掛け合い）の間合いなどである。文16の繰り返し（やまびこ用法）は追いかけ（エコー効果）なので、②の音量に注意する。</p> <p>(11)ポーズの長さや声の大きさは生徒に工夫させる。</p>
記号	<p>本文に書き入れる。</p> <p>作品の理解準備</p> <p>語句のまとめり 括弧・<u>囲み</u>=〈観念〉（名詞句など）</p> <p>読みの指標</p> <p>ポーズ（間合い） /</p> <p>リズム やや速く やや遅く</p> <p>切り替え（飛び越え） ∨ かかることば）</p> <p>強調=プロミネンス（フォーカス）</p> <p>聞き取りの手がかり（音声・朗読記号 必要箇所だけ示す）</p> <p>アクセント 下がり目（滝） ↓</p> <p>文頭イントネーション（はやあがり、高出し） □— —</p>

原作	世界には愛しかない（歌：樺坂46 作詞：秋元康 作曲：白戸佑輔 振り付け：TAKAHIRO）
----	---

文番号	読み手	本文
1	A	歩道橋を駆け上がると、 <u>夏の青い空</u> がすぐそこにあった。
2		〈絶対届かないってわかっている〉はずなのに／ 僕はつま先で立って／思いっきりV手を伸ばした。
3		〈ただじっと眺め続ける〉ななんてできやしない。
4		〈この胸に溢れるV君への <u>想い</u> 〉がもどかしい。
5	B	真っ白な入道雲がもくもくと近づいて、 どこかで蝉たちが一斉に鳴いた。
6		<u>太陽</u> が一瞬／〈怯んだ〉気がした。
7	C	複雑に見えるこの世界は／単純な感情で動いている。
8	B + C	〈最初にV秘密を持った〉のはいつだろう？
9		大人は〈みんなV嘘が <u>多すぎて</u> 〉忘れてる。
10	①	〈通り抜ける風〉は僕に語りかける。
11		もう少ししたV夕立が来る。
12	① + ③	世界には愛しかない。
13	②	信じるのはそれだけだ。
14	全員	今すぐ僕は君を探しに行こう。
15	① + ③	誰に反対されても
	②	心の向きは変えられない。
16	① + ③	それが
	②	それが （繰り返し やまびこ用法）
	① + ③	僕の
	②	僕の （繰り返し やまびこ用法）
	全員	アイデンティティー。

むすび

音読・朗読教材の作成にあたっては、厳密な記号付けを学生に求めるのではなく、内容の理解と表現の仕方を体験し、自ら考えるための必要なポイントについて記号付けを試みるようにしたい。記号付けはあくまでも補助的な役割にすぎない。基本的な読み方の一つを定めるもので、しばられるルールではない。声による表現は多様なものであり、個人が感じたことをどのよう

に表現するか、されたかというところに意味がある。本稿で取り上げた作品は、朗読の基本である「身体とことばの関係」について学ぶ教材として適切である。

体験的理解は、観察から考察へ、そして実践へとつながり、主体的な学びを大学教育でも実現するために必要である。身の回りのテーマ、つまり身近なものを教材にする試みは、深い学びへの第一歩でもある。

参考文献

- 渡辺知明（2012）『朗読の教科書』Pan Rolling
- 重水健介（2013）『みんなの群読脚本集』高文研
- 家本芳郎（2000）『新版 楽しい群読脚本集』高文研
- 日本国語教育学会（2015）『シリーズ国語授業づくり 音読・朗読 －目的に応じた多様な方法－』東洋館出版社
- 山田将由（2016）『音読指導入門 アクティブな活動づくりアイデア』明治図書
- 谷川俊太郎・稲垣忠彦・竹内敏晴・佐藤学他（1989）『「にほんご」の授業』国土社
- 『教育科学 国語教育』734 効果的な「音読指導」のコツ 2011.3 明治図書
- 『教育科学 国語教育』743 音読・朗読指導の効果を見直す 2011.12 明治図書
- －提言－音読・朗読指導の効果を見直す から
- 大内善一（2011）「身体（＝舌頭）で思考する」
- 香西秀信（2011）「文字にはできないこと」
- 鶴田清司（2011）「音読・朗読の方法と意義を体験的に理解する －大学の実践から－」
- 須田実（2011）「音読・朗読に関する指導目標と指導事項の内容を具現化する言語活動の充実 ・楽しく学び合い、伝え合う実践力をつけるために」
- 足立幸子（2011）「読み手と聞き手を育てるラジオ・リーディング」
- 能瀬明（2011）「伝え合い、学び合うための音読指導のあり方 －学級に望ましい人間関係を構築するために－」
- 土屋智明（2012）「新学習指導要領を具現する小学校国語科「読むこと」領域の授業改善 －確かな言語能力を身に付けさせる言語活動と単元構想のポイントを明らかにして－」福島県教育センター 平成24年度版長研実践事例（PDF）
- 有働裕・小原亜紀子(2014)「音読の学習効果に関する一考察 －聴解、黙読、つぶやき読みと比較して－」『愛知教育大学教育創造開発機構紀要』4

資料

- 10 特定領域研究「韻律と音声処理」日本語MULTEXT韻律コーパス(MULTEXT-J) 国立情報学研究所音声資源コンソーシアム2010.6

樺坂46 ‘世界には愛しかない’ 制作会社・レーベルソニー・ミュージックレコーズ
発売日 2016年08月10日

付記

本稿は、2017年度山形県立米沢女子短期大学オープンキャンパス 国語国文学科模擬授業 国語学への第一歩(2017年7月30日) において取り上げた朗読表現部分についてまとめ直したものである。

注1 『中学校学習指導要領解説国語(平成29年6月)』では、「従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕で構成していた内容を、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に構成し直した。」と述べる。3領域は、国語科の目標に掲げた三つの柱のうちの一つとして構成されている。音読・朗読は、〔思考力、判断力、表現力等〕領域の学習活動になる。

注2 音声学のプロミネンスにあたる。

注3 須田実(2011)は、「中学校の言語活動では音読・朗読を通して文章の内容(表現)についての理解を深めたり、感じたことや考えたことを声に表したりすることをねらいとしている。」と述べる

注4 『日本語MULTEXT韻律コーパス』は、eq0, eq1, ~eq9, o0, o1, ~o9, p0, p1, ~p9, r0, r1, ~r9の40節のテキストを、「朗読(r)」と「模擬自発発話(p)」の2つの発話スタイルで収録し、総計480節(40節×6名×2発話スタイル)の音声データをベースに構築されている。ここで用いられる「朗読」という用語は国語教育で用いる朗読とは意味づけが異なる。「朗読(r)」は正しく読むことを意識した音読、「模擬自発発話(p)」は感情をこめた表現読み(国語教育における「朗読」)に相当する。ファイル名のprefix(接頭辞)はfhk_eq0r, mso_o8pのようになっており、前者は話者fhkによるeq0節の音読であること、後者は話者msoによるo8節の表現読みであることをそれぞれ意味している。

注5 fhkは女性(1969生)、東京在住31年、女優歴5年、ナレーション歴5年、2001.3.23録音の音声データである。

注6 重水健介(2013) 参照。

注7 秋元康プロデュースにより、2015年8月21日に結成された日本の女性アイドルグループ。21人構成。2016年4月6日に‘サイレントマジョリティー’でデビュー。

注8 谷川俊太郎・稲垣忠彦・竹内敏晴・佐藤学他(1989)による。

注9 大内善一(2011)でも「音読・朗読の真の意義は、〈身体〉で思考するということろにある」と述べられる。

11

注10 () 内はナレーターの補足説明。

注11 2017年9月9日にNHKBSプレミアムで放映された「櫻坂46SHOW Re-Mix」には、振り付け師TAKAHIRO 氏のインタビューが収録されている。氏は楽曲‘世界には愛しかない’について次のように語る。

「すごく写実的で世界がありありと映画のように見えてくる。全ての結論が1 番始めの走って歩道橋を登って太陽をにらんだ瞬間にこの物語の全てが語られている。ああ、なんて美しいんだって、もう興奮したのを覚えています。君に会うことを大人から禁止されて、いつも僕は諦めているんだけど、今回はやっぱり自分の意志で君に会いに行かなくちゃいけないんだって言って、何かを打ち破るように走って闘っていく。それが大人っという存在が入道雲だったり、あるいは、太陽という絶対に勝てないものなのかもしれない。けれども、思いっきりそれに僕は負けないうでぶち当たっていこうと思った瞬間に、その意志の強さが蟬の声のように現れ、その後はどうなるかっていうストーリーまで書いてある。入道雲をこえた瞬間、虹がかかるわけです。このストーリーの未来はいいですよ。

歌詞について話し合う時間っていうのをいつも持っていて、結構1時間とか2時間とか3時間とか、振り付けしなくちゃいけない、みんなに教えなきゃいけない、時間があまりない、急いでっていうときでも、話し合う時間っていうのを大事にしています。メンバーの中で話し合って、それぞれの中で咀嚼して自分の中で答えを作って命を吹きこむ。途中からだんだん彼女たちの中で振り付けがどんどん進化して行ったりするわけです。そこが一番生きてる。」

ここには、表現する者一人一人が詩のことばの持つ意味をきちんと理解し、共有することの大切さが語られている。